

友の会だより

No.68
2022.10

茨城県陶芸美術館友の会

展 覧 会
案 内

笠間焼250年記念 欲しいがみつかる・うつわ展Ⅱ － 笠間と益子 －

会 期：令和4年9月17日(土)～12月11日(日) 主 催：茨城県陶芸美術館
後 援：笠間市 益子町 朝日新聞水戸総局 茨城新聞社 NHK水戸放送局 産経新聞社水戸支局
下野新聞社 東京新聞水戸支局 毎日新聞水戸支局 読売新聞水戸支局
助 成：芸術文化振興基金
休 館 日：毎週月曜日(ただし9月19日、10月10日は開館)、9月20日(火)、10月11日(火)

本展覧会では、平成30年に開催した「欲しいがみつかる・うつわ展」の第2弾として、笠間(茨城)と益子(栃木)を拠点に活動する74名の作家の作品を紹介します。

笠間焼の歴史が250年を迎える今、令和2年に「がさましこ」として日本遺産に認定された笠間と益子は、伝統的なものから新しい感覚の作風のものなど、多様な個性を許容するやきものの産地として注目を集めています。しかしながら、個人作家のつくるうつわの多くは少量生産のため、個展や陶器市などに作品が並ぶとすぐに完売するなど、作家の手元に作品が残ることが少なく、美術館では紹介されづらい現状があります。本展では、そのような個人のうつわ作家に焦点をあて、両産地の「今」を見つめます。

「使ってみたい」、「飾ってみたい」など、あなたの「欲しい」をみつけにお越しく下さい。



▲小堤晶子【笠間】
ブレメンの音楽隊ティーセット
(2022)



▲丘上八雲【笠間】
T-pot#227、T-pot#236(2022)



▲中村かりん【益子】
象のふたもの、猫のふたもの、
ハリネズミのふたもの(2022)



▲久保田健司【益子】
スリップウェア・フラワー(2022)
ティーポット ティーカップ&ソーサー

● 展覧会関連催事のご案内

*詳細は、チラシや下記ホームページ等をご覧ください、お問い合わせください。

● “ほしみつ”カフェ 限定オープン[要予約]

内 容：本展出品作家が集まる「特設カフェ」を限定オープンします。作家たちがこの日のために準備したカップの中から選び、栗谷昌克氏(出品作家)によるオリジナルブレンドコーヒーをお楽しみいただけます。

日 時：10月15日(土)、11月19日(土) 両日とも①13時30分から ②14時30分から ③15時30分から

参加作家：10月15日(土)：丘上八雲、Keicondo、坂本新、鈴木美沙、穂高隆児、馬目隆広、阿久津雅士、久保田健司、栗谷昌克、西丸太郎、下永久美子、庄司千晶
11月19日(土)：丘上八雲、小堤晶子、assa、Keicondo、近藤文、坂本新、馬目隆広、横山知加子、阿久津忠男、榎田若葉、栗谷昌克、西丸太郎、下永久美子

場 所：当館地下1階オープンギャラリー(企画展示室横) 参加費：500円(要企画展観覧料) 定 員：各30名(要予約)

予約方法：右記予約フォームB、または電話にてお申込みください。

(受付期間：9月21日(水)から各開催日の1週間前まで)

電話予約…0296-70-0011(9時30分から17時00分。休館日は受付できません)

※予約多数により、抽選とさせていただきます。可能性がございます。※参加作家は変更の可能性がございますのでご了承ください。

※参加作家の在カフェ時間などの最新の情報は、当館のウェブサイトおよびInstagramに掲載いたします。

予約フォームB



● ギャラリートーク(予約不要) 担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日 時：11月5日(土) 13時30分から 会 場：当館地下1階企画展示室、2階第2展示室 参加費：無料(要観覧料)

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今後の状況により予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。
変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

茨城県陶芸美術館ホームページ <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

素材に生かされた焼きもの

小山義則さん

自分に合った土を見つけ、自分に合った作り方を追究する小山義則さん(笠間市在住)の工房を伺いました。(8月24日)



出身はどちらですか？

笠間市の岩間地区出身です。

陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください。

高校時代から歴史が好きで、特に日本文化の芽生えの時期と言える「東山文化」に強く関心をもっていました。その中でも、茶道の焼きものに興味をもつようになりました。

不器用だった私でも、焼きものは裾野が広いので、目指すものが出てくれば、先へ進められるという思いから、陶芸の道に入りました。1980年頃、焼メ陶の産地、伊賀で修行を始めました。偶然、生涯師匠となる伊賀心窯の小島憲二氏に出会いました。土掘り、窯焚き、薪のことなど焼きものに必要なこと全てを修行中に学ぶことができました。土を見て、どうやって焼き上げるか、たくさんの経験ができたことは、本当にラッキーでした。

作品づくりについてお聞かせください。

1988年、笠間で独立しました。

食器全般、酒器、皿など幅広く作っています。中でも、修行先が土鍋の産地だった為、炊飯用の土鍋づくりに力を入れ始めました。新米をおいしく炊くために土鍋の造形美と実用性、背の高い対流性と蓋の重い圧力をかけたときの違いなど、様々な工夫を加え土鍋を作っています。

最近是集大成として、自分が本当につくりたいものにシフトしてきています。

「自分を主張するのではなく、素材に生かしてもらおう！焼きものに生かしてもらおう！」これが私の信条です。私はその時期は過ぎましたが、一定期間は“数を作り倒す”そうすることで、いろいろな世界が見えてくると思っています。

今後、どんなことをやりたいですか？

本道はあくまで伊賀の焼メ陶ですが、他にも青瓷や粉引、県内産の土による南蛮焼メなど、今まで焼いてきた器を追究、進化させ、自分の原点である伊賀の土を中心に、素材それぞれの良さを最大限に活かせたらと思っています。

土は掘るものであって、買うものではないと思っていますので、土を掘ることは本当に楽しみです。そして釉薬など素材作りは、窯から採れた量の床の藁灰や、身近にある鬼板水打粘土などをブレンドするなど、極力シンプルにしております。



小山義則さん工房の窯

対談を終えて

「小島憲二さんは、器の大きい憧れの人です。一生ついて行きたいと思うほどに傾倒しています。」といえる程に信頼できる人に出会えたことは、小山さんの陶芸愛の賜であると思いました。

ヨーロッパ磁器絵付け講座

令和4年 7月14日(木)・23日(土)



友の会発足時からの事業「ヨーロッパ磁器絵付け講座」を今年度も実施することができました。17名の方が参加し、花をモチーフにし、陶板に花びら一枚いちまいを丁寧に絵付けします。一日目を終了後、講師のマリア先生が作品を持ち帰り窯で焼き、2日目はさらに絵付けを進め焼いて完成となります。絵の具の量や筆使いで色や質感が変わることから、参加者は真剣に作業を進めていました。できあがった作品は美術館ロビーの「友の会コーナー」に展示してあり、美術館

を訪れた人を楽しませています。

講演会

「茶掛けも浮世絵も読める、わかる、初めてのくずし字教室」

令和4年 8月21日(日)



書家・書道史家の角田恵理子さんを講師に、友の会主催の講演会を開催しました。企画委員会でコロナ禍でも何かできる事業はないかと考え今回の講演会を企画しました。笠間市の広報紙でも参加者を募り、40人ほどの方に参加をいただきました。茶掛けや浮世絵などで見かける「くずし字」ですが、読むことができなくて残念に思った経験があるかと思います。読めたらいいなとは思いますが難しさが先に立ってしまいます。

講師の角田先生から、「くずし字だけど読めそうな字がいくつもあること」「筆路をたどって元の漢字を知ること」などを丁寧に教えていただきました。参加者からは、「はじめは難しく感じましたが、だんだん何となくわかってきました」「くずし字を読めるようになりたいと思いました」などの感想をいただきました。友の会では今後も講演会を実施していきたいと考えています。講演内容にご希望ある方は友の会事務局までご連絡ください。



友の会からのお知らせ

呈茶会を開催します

11月13日(日)に友の会主催の呈茶会を開催します。当日は「茨城県民の日」で入館料は無料となります。参加費500円でお茶と茶菓を楽しんでいただけます。会員の方だけでなく一般の方の参加をお待ちしています。
期 日：令和4年11月13日(日)茨城県民の日 会 場：茨城県陶芸美術館 地下1階オープンギャラリー
席 主：花田和枝氏(裏千家) 参加費：500円
※詳細については茨城県陶芸美術館ホームページ友の会コーナーに掲載します。

◎会員の皆様に焼き物をプレゼント

前号でもお知らせいたしました、笠間陶芸大学校生徒さんの作品プレゼントを継続しています。まだ受け取られていない会員の方は、来館時に総合案内にお申し出ください。ご来館をお待ちしています。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

- **アトリエ・フラスカ** 0296-72-9322
- **笠間工芸の丘** 0296-70-1313
- 10月5日(水)～10月16日(日) C&S展
- 10月5日(水)～10月16日(日) イバとラキ(さがわはるな・chikuchikuむつふく)
- 10月19日(水)～11月6日(日) nido展
- 11月9日(水)～11月27日(日) 日本工芸会東日本支部茨城研究会
- 11月30日(水)～12月24日(土) 干支展
- 12月7日(水)～1月22日(日) ひとにやさしいうつわ展
- 1月2日(月)～1月23日(月) 穂高隆児展
- 1月25日(水)～2月12日(日) アトリエ・シカーダ展
- 1月25日(水)～2月26日(日) 桃宴
- **笠間みんげい** 0296-72-9280
- **かつら陶芸** 0296-72-6688
- **ギャラリー桜** 0296-72-0803
- **ギャラリー爽風SOHO** 0296-72-9121
- **ギャラリー舞台** 0296-73-0700
- 9月17日(土)～10月2日(日) 森恭展 porte-bonheur ポルトボヌール
- 10月8日(土)～10月23日(日) 藤原里子陶展
- 10月29日(土)～11月8日(火) 小山義則展
- 11月12日(土)～11月20日(日) 櫻井理人・あゆみの陶展
- 11月22日(火)～12月11日(日) おくりもの展
- **笠間焼窯元共販センター** 0296-72-5665
- **きらら館** 0296-72-3109
- 9月27日(火)～10月10日(月) 駒澤博司 作陶展
- 10月12日(水)～10月23日(日) 岩本倫子 作陶展
- 10月25日(火)～11月6日(日) 山口由美 作陶展
- 11月9日(水)～11月20日(日) 栗原節夫・高橋勝宏 2人展
- 12月6日(火)～12月18日(日) しののめ窯 作陶展(鈴木慎一 鈴木あかね)

- 1月1日(日)～1月15日(日) 陶雛展
- 1月17日(火)～1月29日(日) 西村俊彦 作陶展
- 1月31日(火)～2月12日(日) 中林由香梨 坂本新 小松弦太 3人展

- **向山窯** 0296-72-0194
- **丹野陶房** 0296-72-4028
- **陶芸館** 0296-72-6650
- **ギャラリー陶正** 0296-72-4007
- **東風舎** 0296-72-5205
- **無限堂** 0296-72-1695
- **やまさき陶苑** 0296-72-6865
- **涼** 0296-72-0712
- **ミュージアムショップ(館内)** 0296-72-7105
- **レストラン「風の丘」(館内)** 0296-72-0197

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。)笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験してみたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

年会費 3,000円(夫婦会員は2人で5,000円)

- 特典1** 常設展が、何度でも無料観覧できます。
- 特典2** 企画展が年2回まで無料で観覧できます。
- 特典3** 会報の無料配付(年3回)を受けられます。
- 特典4** 特約店において、陶磁器等の割引が受けられます。
- 特典5** 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。
茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

編集後記

食欲の秋がやってきました。今年も、おいしい笠間の栗ができたようです。栗を味わいながら笠間の秋を楽しむのはいかがでしょうか。

友の会だより No.68

発行: 令和4年10月1日
編集・発行: 茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員: 小栗 和子 鈴木 充